

平成7年度厚生省心身障害研究
「多胎妊娠の管理及びケアに関する研究」

多胎家庭におけるソーシャル・サポートのニーズに関する実態調査
(分担研究：多胎児に対するケアのあり方に関する研究)

分担研究報告書

研究協力者 大阪大学医学部
早川和生
共同研究者 近畿大学医学部
清水忠彦
横山美江

要約： 双子の母親123人、ならびに三つ子の母親96人に対し、育児上の問題点と母親の疲労の実態について調査し、以下の結果を得た。

- 1) 双胎出生した児が何らかの障害を有する比率は4.9%であったのに対し、三つ子では9.7%が障害を有していた。また、双子のペアのうち少なくとも1人が障害を有する率は約10%で、三つ子では約25%であった。
- 2) 0歳児を持つ三つ子の母親では、他の年齢の児を持つ母親に比較して睡眠時間が短く、夜間に2回以上起きる者の比率も高く、重度の睡眠不足の訴えが高い傾向が有意にみられた。また、双子の母親においても、三つ子の母親と同様の傾向がみられた。
- 3) 多胎児以外の上下の兄弟の世話をする時間的余裕については、0歳児から2歳児を持つ母親の70%が双子・三つ子とも余りないから全くないと回答していた。しかし、双子が3歳以上になると86.7%の母親が他の兄弟の世話をする時間がある又は十分あると回答していた。これに対し、三つ子では3歳以上になっても他の兄弟の世話をする時間がある、又は十分あると回答した者は58.3%にとどまっていた。
- 4) 育児協力者のいない母親は、育児協力者のいる母親に比較して双子、三つ子とも身体面で有意に重度の疲労感を訴えていた。また、これらの母親における身体面での疲労感は双子や三つ子が3歳以上になると身体面での疲労感の訴えが改善する傾向がみられた。

見出し語： 多胎児、育児疲労、ソーシャル・サポート、障害児

研究方法： 双子の母親123名、および三つ子の母親96名を対象にソーシャル・サポートのニーズを実態調査した。調査は郵送質問紙調査にて実施した。

結果： 調査対象の家庭要因について表1に示した。これら対象における障害児の発生について調べた結果を表2に示した。双子において少なくとも1人以上が障害を有する双子は9.6%であった。三つ子において少なくとも1人以上が障害を有する三つ子は23.3%であった。双子と三つ子との間の障害発生率の差異は有意($p<0.01$)であった。

表3は、母親の睡眠状態を調べたものである。三つ子の母親では、0歳児の母は平均睡眠時間5.48時間、1歳児では、

6.35時間、2歳児では6.50時間、3歳児では6.62時間であった。三つ子の年齢が低いほど母親の睡眠時間が有意($p<0.001$)に短い傾向がみられた。双子では有意ではないものの同様の傾向がみられた。

夜間起きる回数については、0歳児では双子の母親で平均1.8回、三つ子で平均2.6回であった。双子、三つ子とも児の年齢が低い程、夜2回以上起きる者の比率が高くなっていった。

睡眠不足の自覚得点についても児の年齢別に差異が認められた。特に、三つ子では有意($p<0.01$)に児が小さい時ほど睡眠不足を感じていた。

表4は、多胎児以外の兄弟の世話をする時間的余裕についての調査結果を示した。双子では、ある又は十分あると答えた母親が0-

2歳では27.9%であるのに対し、3歳児以上では86.7%であった。三つ子では双子ほどの差異はみられなかった。

表5は育児協力者の有無別に母親の疲労状況を比較した結果である。双子、三つ子とも育児協力者のいないものは育児協力者のいるものに比較して慢性疲労、身体不調、不安兆候、イライラ感、身体的疲労の訴えが高い傾向がみられた。

表6は児の年齢階級別に母親の疲労状況を検討した結果である。双子の母親では、一般的疲労感、および慢性疲労の特性において3歳以上で有意(p<0.01)に訴えが低くなっていた。

考察：多胎家庭における育児上の問題点に関する過去の調査報告では、双子と三つ子を比較したものは極めて少ない。特に多数の三つ子家庭を調査した報告は国際的にも乏しい現状にある。

今回の調査では、特に障害児の発生に関する結果が注目される。双子の母親では、約10名に1人、三つ子の母親では4人に1人が障害児をかかえていた。児の数が多いのみでなく、障害を有する児の育児は更に家族の負担を重くしていることが明らかである。多々意家庭に対するソーシャル・サポートでは、障害児の育児課題が避けられない。

また、母親の睡眠時間については、三つ子の母親の場合、双子の母親より更に悪化した睡眠状況にあることが推察された。他の兄弟の世話の余裕に関しても、三つ子の母親の場合、3歳以上でも余裕がないものが多く、双子以上に長期間強いストレス下に置かれていることが示唆された。

表1 双胎・品胎家庭の背景

| | 双胎家庭 (N=123) | 品胎家庭 (N=96) |
|--------------------------|-----------------|----------------|
| 母親の出産時年齢構成 | | |
| 25歳未満 | 7 (5.7) | 1 (1.0) |
| 25歳以上30歳未満 | 62(50.4) | 51(53.1) |
| 30歳以上35歳未満 | 37(30.1) | 39(40.6) |
| 35歳以上 | 16(13.0) | 5 (5.2) |
| 不明 | 1 (0.8) | 0 (0.0) |
| 母親の出産時平均年齢 ¹⁾ | 29.5±3.83 | 29.5±2.88 |
| 多胎児の年齢構成 | | |
| 1歳未満 | 46(37.4) | 24(25.0) |
| 1歳以上2歳未満 | 27(22.0) | 24(25.0) |
| 2歳以上3歳未満 | 17(13.8) | 20(20.8) |
| 3歳以上 | 32(26.0) | 27(28.1) |
| 不明 | 1 (0.8) | 1 (1.0) |
| 多胎児の平均年齢 ¹⁾ | 2.47±3.18 | 2.29±2.66 |
| 多胎児の上下の兄弟の数 | | |
| 0人 | 64(52.0) | 70(72.9) |
| 1人 | 48(39.0) | 21(21.9) |
| 2人 | 11 (8.9) | 5 (5.2) |
| 育児協力者の有無 | | |
| あり | 106(86.2) | 86(89.6) |
| なし | 17(13.8) | 8 (8.3) |
| 不明 | 0 (0.0) | 2 (2.1) |

()内は%

¹⁾ Mean±SD

表2 双子・三つ子別障害の有無

| | 双子 組 (%) | 三つ子 組 (%) |
|------------|-------------|--------------|
| 障害児がいない | 104 (90.4) | 69 (76.7)** |
| 障害児が1人以上いる | 11 (9.6) | 21 (23.3) |
| 計 | 115(100.0) | 90(100.0) |

** p<0.01

表3 双子・三つ子の年齢階級別母親の睡眠状態

| | 双 子 | | | | 三 つ 子 | | | |
|-------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------|
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳以上 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳以上 |
| 睡眠時間 ¹⁾ | 6.11 ±1.08 | 6.46 ±1.06 | 6.71 ±0.69 | 6.50 ±1.04 | 5.48 ±1.34 | 6.35 ±1.00 | 6.50 ±0.99 | 6.62 ±0.74*** |
| 夜間起きる回数 ²⁾ | | | | | | | | |
| 2回未満 | 23 (50.0) | 14 (51.9) | 12 (70.6) | 22 (75.9) | 6 (26.1) | 12 (52.2) | 12 (63.2) | 18 (72.0)* |
| 2回以上 | 23 (50.0) | 13 (48.1) | 5 (29.4) | 7 (24.1) | 17 (73.9) | 11 (47.8) | 7 (36.8) | 7 (28.0) |
| 計 | 46(100.0) | 27(100.0) | 17(100.0) | 29(100.0) | 23(100.0) | 23(100.0) | 19(100.0) | 25(100.0) |
| 睡眠不足の自覚得点 ¹⁾ | 3.33 ±1.03 | 2.96 ±0.96 | 3.00 ±1.12 | 2.87 ±0.99 | 3.73 ±1.16 | 2.83 ±1.03 | 2.84 ±1.01 | 2.59 ±1.05** |

¹⁾ Mean±SD

²⁾ ()内は%

* p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

表4 双子・三つ子の年齢別多胎児の上下の兄弟の世話をする時間的余裕

| | 双子 | | 三つ子 | |
|------------------|-----------|--------------|-----------|-----------|
| | 0歳～2歳 | 3歳以上 | 0歳～2歳 | 3歳以上 |
| 上下の兄弟の世話をする時間的余裕 | | | | |
| 十分ある～ある | 12 (27.9) | 13 (86.7)*** | 4 (26.7) | 7 (58.3) |
| あまりない～全くない | 31 (72.1) | 2 (13.3) | 11 (73.3) | 5 (41.7) |
| 計 | 43(100.0) | 15(100.0) | 15(100.0) | 12(100.0) |

()内は%

*** p<0.001

表5 双胎・品胎家庭における育児協力者の有無別母親の疲労状態

| | 双胎家庭 | | 品胎家庭 | |
|---------------|-------------------|--------------------|------------------|-------------------|
| | 育児協力者なし (N=17) | 育児協力者あり (N=106) | 育児協力者なし (N=8) | 育児協力者あり (N=86) |
| CFSIの各特性の訴え得点 | | | | |
| 一般的疲労感 | 38.5 | 28.8 | 38.6 | 21.2 |
| 慢性疲労 | 58.8 | 48.6 | 64.6 | 43.6* |
| 身体不調 | 29.4 | 12.9* | 20.0 | 14.0 |
| 不安徴候 | 32.4 | 17.0* | 31.3 | 17.1 |
| 抑うつ状態 | 33.3 | 19.1 | 24.0 | 20.5 |
| 気力減退 | 26.2 | 19.8 | 25.0 | 19.6 |
| イライラ感 | 48.5 | 28.9* | 54.7 | 30.5 |
| 疲労の5段階評定 | | | | |
| 身体的疲労 | 3.76 | 3.25* | 3.86 | 2.99* |
| 精神的疲労 | 3.29 | 3.04 | 3.50 | 2.92 |
| 育児疲労 | 3.12 | 2.99 | 3.00 | 2.72 |

* p<0.05

表6 双子・三つ子の年齢階級別母親の疲労状態

| | 双子 | | | | 三つ子 | | | |
|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| | 0歳 (N=46) | 1歳 (N=27) | 2歳 (N=16) | 3歳以上 (N=32) | 0歳 (N=24) | 1歳 (N=24) | 2歳 (N=20) | 3歳以上 (N=27) |
| CFSIの各特性の訴え得点 | | | | | | | | |
| 一般的疲労感 | 33.4 | 40.7 | 24.4 | 20.2** | 23.1 | 19.7 | 29.6 | 20.2 |
| 慢性疲労 | 54.0 | 61.1 | 57.3 | 31.8** | 54.2 | 39.6 | 56.7 | 37.0 |
| 身体不調 | 14.6 | 18.5 | 20.6 | 10.9 | 15.8 | 13.8 | 21.5 | 9.6 |
| 不安徴候 | 21.3 | 25.2 | 11.9 | 14.4 | 14.6 | 17.5 | 26.0 | 16.3 |
| 抑うつ状態 | 19.0 | 29.6 | 18.7 | 18.2 | 19.1 | 16.3 | 28.3 | 21.3 |
| 気力減退 | 21.2 | 28.3 | 15.4 | 16.2 | 20.5 | 13.6 | 22.3 | 23.9 |
| イライラ感 | 29.1 | 42.1 | 32.8 | 27.0 | 30.2 | 30.2 | 41.9 | 30.1 |
| 疲労の5段階評定 | | | | | | | | |
| 身体的疲労 | 3.35 | 3.67 | 3.41 | 2.97* | 3.58 | 2.75 | 3.40 | 2.70** |
| 精神的疲労 | 3.30 | 3.30 | 2.65 | 2.84 | 2.92 | 2.68 | 3.55 | 2.74 |
| 育児疲労 | 3.13 | 3.26 | 3.29 | 2.48* | 3.04 | 2.67 | 3.10 | 2.30* |

* p<0.05 ** p<0.01

これらのことから、双子の家庭では3歳以降は母親の疲労感が軽減される傾向があり、2歳までは家族が協力して育児負担が母親に偏重しないよう配慮することが大切であるといえる。3つ子では、3歳以後も母親の疲労感は強く、周囲のサポートを必要としていることを保健所や各種医療機関の専門職（医療・福祉）は十分知っておく必要がある。

文献：

(1) 早川和生編：双子の母子保健マニュアル
第1版、医学書院、1993

- (2) 横山美江、清水忠彦、早川和生：双胎・品胎家庭の育児に関する問題と母親の疲労状態、日本公衆衛生雑誌、42(3):187-193, 1995
- (3) 横山美江、清水忠彦、早川和生：双子と三つ子における障害児の発生状況、日本衛生学雑誌、49(6):1013-1018, 1995
- (4) 横山美江、清水忠彦、早川和生：双生児の一方の児に対する母親の愛情の偏りと関連要因、日本公衆衛生雑誌、42(2):104-112, 1995
- (5) 横山美江編：ふたご・三つ子のための保健・育児の手引き、関西ふたご研究会、1995

Abstract

Survey on the Needs for the Social Support in Multiple Birth Families

Kazuo Hayakawa
Kazuo Hayakawa

A questionnaire survey was conducted in order to investigate the needs of multiple birth families. The subjects were 123 mothers of twins and 96 mothers of triplets. The following results were obtained.

- 1) The risk of handicap in twin pregnancy was approximately 10%, and in triplet pregnancy was approximately 25%.
- 2) Mothers of triplet tended to report poorer sleep condition than the mothers of twin.
- 3) Mothers of multiple birth showed a tendency of less physical fatigue after two years in twins, and after longer period in triplets.



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約: 双子の母親 123 人、ならびに三つ子の母親 96 人に対し、育児上の問題点と母親の疲労の実態について調査し、以下の結果を得た。

- 1) 双子出生した児が何らかの障害を有する比率は 4.9%であったのに対し、三つ子では 9.7%が障害を有していた。また、双子のペアのうち少なくとも 1 人が障害を有する率は約 10%で、三つ子では約 25%であった。
- 2) 0 歳児を持つ三つ子の母親では、他の年齢の児を持つ母親に比較して睡眠時間が短く、夜間に 2 回以上起きる者の比率も高く、重度の睡眠不足の訴えが高い傾向が有意にみられた。また、双子の母親においても、三つ子の母親と同様の傾向がみられた。
- 3) 多胎児以外の上下の兄弟の世話をする時間的余裕については、0 歳児から 2 歳児を持つ母親の 70%が双子・三つ子とも余りないから全くないと回答していた。しかし、双子が 3 歳以上になると 86.7%の母親が他の兄弟の世話をする時間がある又は十分あると回答していた。これに対し、三つ子では 3 歳以上になっても他の兄弟の世話をする時間がある、又は十分あると回答した者は 58.3%にとどまっていた。
- 4) 育児協力者のいない母親は、育児協力者のいる母親に比較して双子、三つ子とも身体面で有意に重度の疲労感を訴えていた。また、これらの母親における身体面での疲労感は双子や三つ子が 3 歳以上になると身体面での疲労感の訴えが改善する傾向がみられた。